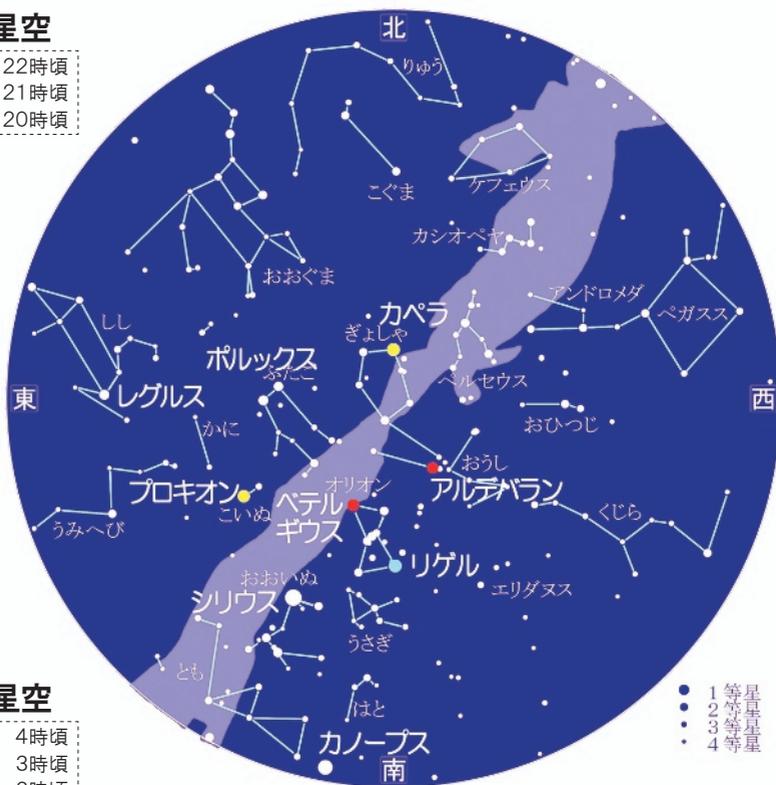


星空ガイド 1月16日～2月15日

よいの星空

1月16日 22時頃
2月 1日 21時頃
15日 20時頃



あけの星空

1月16日 4時頃
2月 1日 3時頃
15日 2時頃



〔太陽と月の出入り(大阪)〕

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
1	16	7:04	17:10	15:28	5:44	13.4
	21	7:02	17:15	20:21	9:11	18.4
	26	7:00	17:20	0:33	11:37	23.4
2	1	6:56	17:26	7:09	17:18	29.4
	6	6:52	17:31	9:56	22:47	4.9
	11	6:48	17:36	12:36	2:41	9.9
	15	6:44	17:40	16:09	6:01	13.9

うさぎ座を見つけよう

冬は明るい星が多く、星空にぎやかです。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンをつないでできる三角形は「冬の大三角」とよばれ、冬の星空の目印となっています。また、オリオン座にはもう一つの一等星リゲルが輝き、さらに近くの二等星5つを合わせて、リボンのような形が夜空でひとときわ目をひきます。

そんな華々しい星座たちに埋もれてあまり目立ちませんが、オリオン座の足元にうさぎの姿が描かれているのをご存じでしょうか。それが、うさぎ座です。うさぎ座には特に神話などは残されていませんが、歴史は古く、約2,000年前にはすでに作られていました。うさぎは狩人のオリオンが最も好んだとされる獲物で、そのためオリオン座の足元に描かれたと考えられます(そう思って見ると、何となく描かれているうさぎに哀愁が漂っているような…)。

この星座には目立つ明るい星はありませんが、三等星の星4つをつなぐと台形のような形になり、とても良く晴れた日には大阪のような都会の空でも見つけることができます。街明かりの少ないところでは、うさぎの長い耳にあたる2つの星も見ることができます。かなり寒い時期ですが、あたたかい格好で、明るい星々を楽しんだ後、ぜひうさぎの姿も探してみてください。



図1. 1月31日 21時頃の大阪の空



図2. うさぎ座
※ステラナビゲーター10にて作図

【こよみと天文現象】

月	日	曜	主な天文現象など
1	17	月	土用の入
	18	火	○満月(9時)
	20	木	大寒
	25	火	●下弦(23時)
	29	土	明け方に月、火星、金星がならぶ
	30	日	月が最近(362,300km)

月	日	曜	主な天文現象など	
2	1	火	●新月(15時)／旧正月	
	3	木	節分	
				夕空に月と木星がならぶ
	4	金	立春	
	8	火	●上弦(23時)	
	11	金	建国記念日 月が最遠(404,900km)	

西野 藍子(科学館学芸員)